

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	令和7年度第3回入間市都市計画審議会
開 催 日 時	令和8年3月12日(木) 午後3時00分 開会 ・ 午後3時40分 閉会
開 催 場 所	入間市役所B棟5階 第4委員会室
議 長 氏 名	入間市都市計画審議会 会長 中村 仁
出席委員(者)氏名	久保田政利、齋藤良徳、関 宏、田中智義、中島敦夫、中村 仁、野瀬秀隆、西澤弥生、田山雅子、町田健治
欠席委員(者)氏名	大澤 昭彦、轟 涼、藤野 忠、荒岡 真由美
説明者の職氏名	入間市都市計画課主幹 星野健司
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 諮 問 3 議 題 <ol style="list-style-type: none"> (1) 諮問事項 <ul style="list-style-type: none"> ・ 入間都市計画生産緑地地区の変更について(入間市決定) ・ 入間市立地適正化計画の策定について(継続審議) 4 答 申 5 その他 6 閉 会
非 公 開 理 由	—
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	<ol style="list-style-type: none"> 1 次第 2 入間市都市計画審議会委員名簿、幹事及び職員名簿(資料1) 3 入間都市計画生産緑地地区の変更について(資料2-1~資料2-4) 4 入間市立地適正化計画の策定について(継続審議)(資料3-1~資料3-5)
事務局職員職氏名	上下水道部 部長 石原健二 都市整備部 部長 吉野敬司、次長 星 康貴、参事 毛須知之 都市計画課 課長 原島隆浩 主幹 星野健司、副主幹 荻野勝弘、副主幹 熊谷和巳
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議 事 の 概 要 (経 過) ・ 決 定 事 項

3 議 題

(1) 諮問事項

【入間市諮問事項】

- ・ 入間都市計画生産緑地地区の変更について
諮問事項について「異議なし」として了承された。
- ・ 入間市立地適正化計画策定について（継続審議）
諮問事項について「異議なし」として了承された。

5 その他

事務局より次の事項を説明。

- 審議会の報酬及び費用弁償の支払いについて
今月中に支払いを予定している。
- 次年度の都市計画審議会の開催について
3回の開催を予定している。

会 議 録 (3)

意見・質問者	意見・質問内容
	<p>(1) 諮問事項</p> <p><u>【入間市諮問事項】</u></p> <p><u>・入間都市計画生産緑地地区の変更について</u></p>
野瀬委員	<p>審議案件の生産緑地地区は現地がすでに宅地造成が進んでいる。この時点で審議会において生産緑地地区廃止を審議するのは遅すぎるのではないか。</p> <p>また、宅地造成も終わり住宅建築工事（外装工事）が行われている箇所もあるが、建築確認等の表示がされていないことが気になる。行政としての考えを聞きたい。</p>
事務局	<p>審議会で生産緑地廃止の審議が遅いとのこと指摘は以前よりいただいているところである。生産緑地法による行為制限が解除された時点で開発及び建築が可能となるが、即座に都市計画審議会の開催することが難しいため、都市計画法による廃止手続きが後追いとなってしまう。</p> <p>また、建築確認の表示については管轄が他部署となるため情報を伝え、共有する。</p>
中村会長	<p>他に意見等がなければ、本件については諮問のとおり了承することに決定したいが、よろしいか。</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
中村会長	<p>異議なしと認め、この件について諮問のとおり了承することとする。</p>
	<p><u>【入間市諮問事項】</u></p> <p><u>・入間市立地適正化計画の策定について（継続審議）</u></p>
西澤委員	<p>計画書P 1 1 4の取り組み施策の防災に関して、ソフト面の提言でハザ</p>

	<p>ードマップの活用とあるが、令和4年3月のハザードマップ（平成24・25年に県が地震想定見直しを記載したデータを記載）発行当時と現在とでは街並みの状況が変化している。周囲でライフスタイルの変化により入間市内で転居を希望する者がハザードマップを参考としているが、情報が古いため対応に苦慮している話を多く聞く。定期的に見直してほしい。</p>
事務局	<p>重要なお意見として承る。ハザードマップを所管している危機管理課と共有し、情報提供の充実を図る。</p>
野瀬委員	<p>計画書P115指標1の簡易診断は無料か。</p>
事務局	<p>無料である。</p>
野瀬委員	<p>計画書P115指標1の耐震診断補助等は有料か。</p>
事務局	<p>有料で民間事業者を支払った費用の一部を補助している。</p>
野瀬委員	<p>計画書P115指標1の耐震診断や改修補助の件数は、合計との認識で良いか。</p>
事務局	<p>お見込みのとおりである。</p>
会長	<p>内訳の記載があった方が良いということか。内訳も必要と思う。</p>
野瀬委員	<p>内訳も重要だが、他の懸念がある。</p> <p>新耐震基準（昭和56年6月1日以降に着工した建物が対象）で建築した建物も、建築時からの年数が大きく経過しているため、建物の耐用年数から考えて建て替えが増加すると思われる。今後20年間で耐震補助や改修の件数を目標としても建て替えが増加することで目標件数が減ってくることを懸念している。</p>
事務局	<p>ご意見として承る。</p>

野瀬委員	計画書P145からの資料編も公表か。
事務局	公表の対象である。
野瀬委員	P147(3)策定の経過に本日の今回の都市計画審議会の回数(第3回)は記載しないのか。また、諮問・答申を備考欄に入れてほしい。
事務局	訂正し記載する。
野瀬委員	見直しは5年後か。また、届出の窓口はどこか。
事務局	5年ごとに見直しを行う予定である。また、届出の窓口は都市計画課である。
会長	<p>P147の(3)の策定経過について補足するが、立地適正化計画を策定するにあたり立地適正化計画策定検討委員会が組織され私も委員の一人であり、これまで策定会議を6回行い、そこでの意見も反映されて今日に至っている。</p> <p>また、おおむね5年ごとに見直しをすることとなっているため、改善をしていく機会を活かし、今後、見直しをしながら実行性のある計画にしてほしい。</p> <p>この他に意見等がなければ、本件については諮問のとおり了承することで決定したいが、よろしいか。</p>
委員一同	異議なし。
中村会長	異議なしと認め、この件について諮問のとおり了承することとする。

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和8年3月30日

議長の署名

中村 仁

議長が指名した者の署名

齋藤 良徳